

令和6年6月現在

業種：児童福祉事業

社員数：196名



住所：〒080-0016

帯広市西6条南16丁目9

電話：0155-67-1676

FAX：0155-67-1678

H P：

<https://www.obihiraoai.ed.jp/aoikidsland/index.html>



【歴史と沿革】

学校法人帯広葵学園は、1968年の葵幼稚園から始まります。園児数は9人でした。翌年、帯広市内で数えて6番目に認可された幼稚園となります。

『あおいキッズランド』は定員12名の0歳児・1歳児・2歳児を対象とした、「企業主導型保育園」として2019年に開園しました。

【法人内の障がい者雇用状況】

職員 196名

障がい者雇用 1名

障がい者雇用率 0.98%

Interview

障がい者雇用を始めるまでの経緯

障がい者雇用を通じて地域社会に貢献したいという思いはありましたが、障がい者の方に何の仕事をごまかせまいかわからなかったこともあり、受け入れに戸惑う思いもありました。雇用に関し、理事長より、法人の理念や障がい者雇用の意義について、職員に向けて話してもらった機会があり、職員がしっかりと意義を理解したところから、障がい者の受け入れに向けて職員の気持ちが一気にまとまっていったように思います。障がいのあるなしに関わらずより良い保育をするために共に学んで努めていこうという意識に職員全員がなれたことが受け入れの大きなポイントだったと思っています。今、雇用されている方は精神障がいをお持ちで、環境変化時にはケアが必要ですが、不調な時は自分から伝えてくれているので、都度対応ができています。



学校法人帯広葵学園
企業主導型保育園
あおいキッズランド
施設長 畑 麻貴

障がい者雇用の進め方

まず、高等養護学校からの実習生を受け入れました。残念ながら雇用につながりませんでしたが、障がい者雇用にむけての下地づくりができたと思います。次にハローワーク主催の雇用促進フェアへの出展が採用のきっかけになりました。二週間の実習を経て、トライアル雇用から開始しました。初めての仕事に慣れるまで大変だったと思いますが、問題点や課題をひとつずつクリアにしながら不安を溜めないように進めていきました。本採用後、勤務時間を段階的に増やし現在はフルタイムで働いています。また、モチベーションをアップさせるため子育て支援員の資格取得などでステップアップし本人の自信とやる気につながっているようです。清掃や消毒などが仕事の大半ですが、慣れてくるとスムーズになり追加で仕事を頼むことも多くなってきています。心理的な負担が大きいか様子を見ながら頼むようにし、話し合いの中で細かく対応することで安心して働く環境を整えています。就労をいかに定着させていこうかが今後の課題ですが福祉事業所、相談支援事業所などの就労後のフォローもあり心強いです。連携しながら雇用を継続しています。

制度について

- | | |
|-------|--------------------|
| トライアル | ・・・トライアル雇用助成金 |
| J C | ・・・職場適応援助者(ジョブコーチ) |



令和 6 年 7 月入職(採用時 35 歳) 精神障がい (手帳あり)

トライアル

雇用までの流れ

- ・令和 5 年 12 月 実習 (2 週間)
- ・令和 6 年 01 月 トライアル雇用開始 (6 ヶ月)
- ・令和 6 年 07 月 本採用

仕事の内容 : 保育補助

雇用時間数 : 1 日 8 時間
週 5 日



ミスしても、切り替えてすぐ立ち直るようにしています。
初めの頃よりは、気持ちを切り替えることが上手になってきました。

- ◆ 保育園を希望してくれたことを踏まえて、清掃や玩具の消毒だけでなく園児と関わる時間を確保するようにしています。
- ◆ 真面目で責任感が強いので、できていないと自分を責めてしまう傾向があるので、指摘されていると感じない言い方等、伝え方の工夫をしています。
- ◆ 周りの職員の悩みは施設長が集約し、タイミングを図りながら伝えていたり、本人の悩みがある時には聞く機会を設けたりしています。またタイミングを選ばずに相談をして欲しいとの思いから交換ノートで思いを伝えてもらい、それに返信する形を取ったりしています。

子どもが相手なので、思いどおりに行かないこともありますが、子どもの笑顔を見るとまた頑張ろうと前向きな気持ちになれます。
対応に困った時は、担任の先生にアドバイスをもらいながら対処しています。



障がい者雇用を通じて感じていること

書類の内容では障がいのイメージがつきにくかったのですが、実際に会うとしっかり受け答えをしてくれたり不安な部分が払拭されました。一人ひとり特性は違うためまずはご本人と会ってみる、実習をしてみることで本人に合った仕事を見極めていくことが大事だと思っています。また、仕事の切り出し方も様子を見て、随時見直すなどしています。雇用が決定した後に職場の環境に馴染むよう周囲や連携機関と協力しながら、本人が自信を持ち仕事の定着につなげていけるかどうか重要だと感じています。周囲との連携がなければ職場定着は難しかったと感じています。